

# まちを支える

～『音』で情報を届けます～

## 音訳ボランティア「おとわの会」

音訳ボランティア「おとわの会」は、視覚障害者の情報・知識等を知る権利のサポートを目的に、平成19年10月に会を立ち上げ、15年になります。発足のきっかけは、点字クラブの中から「点字はなかなか読めないね」という声が上がったことからです。

近年、視覚障害者の約80%が、生まれつきの目の障害よりも、事故や病気で視力を失う中途失明の方です。現在、毎月広報さかき、隔月で社協だより、町議会開催月の議会だより、また年3回発行の公民館報を音訳し、CDでお届けしています。各々のホームページからも聴くこと

ができます。必要に応じて時刻表や対面朗読も行っていきます。(コロナ禍で今はできません。)この度、私達の活動が認められ、長野県社会福祉協議会からボランティア団体功労表彰を受けることができました。



年間計画の利用者さんとの交流会や勉強会は、コロナ禍でできませんが、毎月の収録は休まず続けています。メンバーの減少は悩みの種です。一緒に音訳をしてくださる方を募集しています。音訳の趣旨をご理解いただき、ぜひ一度見学に来てくださいます。

代表 柳沢じろ子

### つれづれに

◆本年4月に統一地方選挙があり、首長および議員が改選となるため、今回の議会だよりが、現メンバーでの最終編集となりました。

親しみやすい議会だよりの作成をめざし、多くの町民の方に本誌を手にとり見てもらえるように考え、町議会をわかりやすく伝えられるよう工夫を行ってまいりました。

また、坂城町の時節ごとの魅力伝えるため、町内のあちらこちらへ写真撮影に向かいました。

町民の皆様にも企画記事の投稿にご協力いただき、ご意見・感想の声が増えました。より良い議会だよりが出来たことに感謝申し上げます。

◆卯年の本年が当町において「災い」を大きく跳び越える一年となることを願います。(大日向進也)

発行責任者 議長 小宮山定彦  
議会報編集委員会

委員長 大森 茂彦  
副委員長 山城 峻一  
委員 吉川まゆみ  
株津 明子  
大日向進也